

エビちゃんの服がその場で携帯から買える



「マジカワイイー！」  
熱気と脂粉の香りが立ち込める会場は、携帯を片手にしたギャルで一杯。蛭原友里、押切もえといった女性誌で人気のモデルたちがステージに登場する度に、歓声は高まる。これは三月十一日、「東京ガールズコレクション(TGC)」と銘打たれたイベントでの一コマ。総勢五十五名の人気モデルが着用した服を、携帯を通じてその場で購入できるファッションショーやライブなどが、およそ一万八千人の観客を前に繰り広げられた。この華やかなイベントの仕掛け人は、「ガールズウォーカー・ドットコム」という女性向けの携帯ポータルサイトを運営する株式会社ゼイヴェル。代表の大浜史太郎氏は、放送作家からIT業界へと転職し

## 流行 girlswalker.comの野望

た異色の経歴の持ち主。テレビの仕事を通じて女性マーケットの持つ可能性に気づき二〇〇〇年にF1と呼ばれる、二十三四歳の女性層に向けたサイトを立ち上げた。「二十代の女の子の多くは、まだ自分のパソコンを持っていないんです。メールや電話、インターネットなどは、全て携帯電話で行っています。二十四時間肌身離さず持っている、非常にプライベートな感覚のメディアですね」(同社広報・向後谷代氏)

携帯ユーザーの口コミ波及率に着目し、F1層のニーズを徹底的に追求。ショッピングをはじめ、ニュース、占い、天気予報、アルバイト情報など、二百三十二ものコンテンツを提供した結果、今やその月間アクセス数は三十億PV。コンテンツごとに発行しているメールマガジンは、総読者数が二千六八十万人を超える、日本最大級の携帯ファッションサイトとなった。あの小さな画面からは想像

しづらいが、携帯ならではのメリットも多いという。ショーに登場した五十五名という豪華なモデル陣もその一つ。「TGCに出演したモデルは、雑誌の専属となつていても多いのですが、携帯はどこのにも属さないメディアだという理由で、特別に出演して頂きました」(同前)。イベントの模様はテレビや雑誌などでも紹介され、今やTGCへの招聘オファーがフランスなど世界各国より相次いでいる。

世界のギャルのハートを掴めるか。「携帯で放送局を作ろう!」という試みは、小さな画面を飛び出したばかりだ。(藤原美奈)

## 海外 ハリウッド・セレブ達が火を付けた 米で日本酒ブーム

焼酎人気に押され、ますます影の薄くなつていった日本酒が、いまアメリカでブームになりつつある。

火付け役となつたのは、旧来の日本食レストランとは異なる、しゃれた雰囲気ジャパニーズ・クイーンの登場だ。ブラッド・ピットやマド

ンナからハリウッド・セレブが日本酒を楽しむ様子がメディアで紹介され、大都市を中心に人気が高まった。

ロサンゼルスで寿司職人養成学校を経営し、日本酒サーブス研究会・酒匠研究会連合会(SJI)名誉利き酒師の資格をもつ杉浦利光氏によれば、「こちらで日本酒といえば以前は熱帯だったのですが、二〇〇〇年頃から冷酒が飲まれはじめ、ここ数年で本当に浸透しました。今のところ流行に敏感な人たちが中心ですが、まだまだ伸びるでしょう」  
こうした流れを受け、日本酒の輸出量(価額)は、三年連続で過去最高を記録。五十三億円の輸出総額のうち四八・八%がアメリカ向けだ。「二位の台湾向けは価格が下がってきているが、アメリカ向けは、純米酒、純米吟醸酒が主なので、輸出単価も高い」(大阪税関調査統計課)

現地で日本酒テイスターンクの会を主催する、酒コンサルタントの古垣里美氏は、アメリカ人の高級酒志向についてこう話す。「ワインと同じように、味覚を言葉で表現するのを楽しむ人が多いですね。純米吟醸を



ブラビも左党

白ワインのように冷やして、食前酒として楽しむ人が増えてきている。ただ、やはりワインと同様、説明が必要なお酒ですね」  
アメリカで入手できる日本酒は五百種類以上。ニューヨークやロサンゼルスなら手軽に店頭で買えるが、日本語のラベルが読めないうえ、ローマ字の説明では何をどう飲んだらいいのか、一般消費者には分かりづらい。「日本酒を勧めるソムリエがいてくれたら」という声の高まりを受け、前出の杉浦氏は、アメリカで利き酒師のライセンスを発行すべく準備を進めているという。SJI認定のアメリカ人利き酒師が増えれば、さらにブームは拡大しそうだ。「フランスワインも、海外で評価されて息を吹き返した。日本酒ブームも逆輸入されるのでは?」(古垣氏)